

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	①	固定的性別役割分担意識の解消に向けた学習の推進及び慣行の見直し

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	広く市民を対象とする男女共同参画に関する学習機会の提供	講演会・出前講座	企画政策課	A
2	男女共同参画社会の形成に向けた広報・啓発活動の推進	男女共同参画だよりの発行	企画政策課	A
3	男女共同参画の視点に立った社会教育・家庭教育の推進	各種講座等の開催	生涯学習課	A
4	男女共同参画社会の形成に向けた全庁的な理解の共有と意識の啓発	男女共同参画に関する職員研修の実施	総務課	A
		男女共同参画に関する職員研修の実施	企画政策課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民を対象に「無意識の思い込み～アンコンシャス・バイアス～」をテーマとした講演会を開催した。 男女共同参画だよりを年3回発行し、全戸配布を行った。 係長級の市職員を対象に「ダイバーシティ時代の部下の育成」をテーマとした講演会を開催した。 <p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育園、小学校、中学校、義務教育学校の家庭教育に関する講演会に講師を派遣した。 <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市職員を対象に女性の人権等に関する内容を取り入れた「人権啓発研修会」を開催した。 係長未満の市職員を対象に「ハラスメント研修会」を開催した。
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	講演会、研修の実施など十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 職員研修について、2年に1回は必ず受講してほしい。 データ及び男女共同参画の視点に基づく評価方法を検討していただきたい。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	②	学校教育における人権・男女平等教育の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女共同参画の視点に立った人権・男女平等教育の推進	教職員への指導・研修の充実	学校教育課	A
2	学校における男女共同参画の視点に立った総合的なキャリア教育の推進	教職員への指導・研修の充実	学校教育課	A
3	学校教育関係者が男女共同参画を正しく理解するための学習機会の提供及び情報提供の推進	各種研修会への参加	こども課	A
		県主催の人権教育研修会への参加	学校教育課	A
		出前講座	企画政策課	A

2 取組状況

<p>【学校教育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入職員宣誓式、生徒指導主任等研修会及び管理職研修会において、一人ひとりの人権に配慮した指導や性差における差別、いじめの防止、人権意識の醸成、LGBTなど性的マイノリティに対する理解等について研修・指導を行った。 ・中学校進路指導担当者研修会や管理職研修会において、適切なキャリア教育や進路指導の在り方について指導を行った。 ・発達段階に応じたキャリア教育の研究を行い、成果を各学校で共有した。 ・県主催の各種人権教育研修会に教職員が参加した。 <p>【こども課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市立保育園の全体会で、保育の中で男女の違いを認識しつつ、性的マイノリティへの配慮も必要であることを確認した。 <p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川内、米ノ津、江内、出水、高尾野中学校で、性別にとらわれない自分の生き方や進路を主体的に選択する力を身に付けることを目的とした出前講座を実施した。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	教職員への指導・研修、中学生への出前講座など十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・人権教室が増えてきており、教師への研修が実を結んでいる。 ・学びの機会を増やしていただきたい。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	1	男女共同参画社会の形成に向けた教育・学習の推進
施策の方向	③	性の多様性についての理解促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	性の多様性に関する啓発、相談対応	男女共同参画だよりの発行	企画政策課	A
		思春期保健事業	健康増進課	A
		管理職研修会	学校教育課	A
		学校内の相談窓口の設置	学校教育課	A
		困ったときのほっとダイヤル	学校教育課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりに関連するキーワードを掲載し、周知を行った。</p> <p>【健康増進課】 ・中学1年生を対象に出前講座を実施した。</p> <p>【学校教育課】 ・管理職を対象にLGBTなど性的マイノリティに対する理解や対応、啓発について指導した。 ・児童生徒に対し、教育相談による悩みの把握、常時相談できる窓口の紹介を行った。 ・悩みごとの相談ダイヤルとして「ほっとハウス」で相談事業を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	多様な性の在り方が尊重され、性的指向・性自認についての正しい理解が促進されるよう、積極的に取組を行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口を広げることが重要 ・デートDVについて、県の事業を活用してほしい。 ・義務教育の中で正しい学びの機会を平等に確保してほしい。
--

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	2	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
施策の方向	①	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大に向けた環境整備の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女共同参画に関する男性の理解の浸透を図るための啓発の促進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
2	雇用分野における女性の参画の拡大を図る取組の推進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
3	市の審議会等委員への女性の登用を進める取組の推進	計画的な登用	企画政策課	A
4	市における女性職員の管理職登用推進	女性職員の能力発揮のための支援	総務課	A
5	自治会等地域活動における方針決定過程への女性の参画の拡大を図る取組の推進	意識啓発	企画政策課	A
		自治会長等研修会	くらし安心課	A
6	「男女共同参画の視点」と「協働」の手法を活用した地域づくりに関する学習の推進	NPO法人等の設立支援	くらし安心課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画だよりで県の講座やセミナーについて周知を行った。 国や県のチラシやポスターを活用し、関係法令等について情報提供を行った。 女性の登用推進について関係各課に協力を要請した。 男女共同参画だよりで固定的な性別役割分担意識の解消について周知を行った。 <p>【商工観光課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。 <p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理職が見込まれる職員を対象にマネジメント研修、中堅リーダー研修を受講していただいた。 <p>【くらし安心課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会執行委員会や運営委員会において、各自治会における意思決定過程に女性の参画拡大が図られるよう、依頼した。 自治連だよりの内容が男女共同参画の視点に配慮した表現になっているか確認した。 既存の団体に対し、県が実施する研修会等の情報提供を行った。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	女性の登用状況の「見える化」、人材リストの作成を行うなど女性の参画の拡大に向けた取組を積極的に行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

- ・女性参画を進める必要がある。
- ・組織の中に「女性枠」を設けるなどの取組が必要ではないか。
- ・地域での「ポジティブ・アクション」を進めていかなければならない。
- ・地域での「キャリアパス」をシステム化して、出水市方式を確立していただきたい。
- ・事業所を対象とした調査をしたほうがよいのではないか。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	2	政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
施策の方向	②	女性の能力発揮のための支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	女性の能力開発のための支援	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
		創業支援事業	商工観光課	A
2	農林水産業や商工業等の自営業の分野における女性の経営参画の促進	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	農林水産整備課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
		創業支援事業	商工観光課	A
		情報提供	農政課	A
		家族経営協定	農政課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりやHP等で県の講座やセミナーについて周知を行った。</p> <p>【商工観光課】 ・育児等で家を離れることができない方を対象に、在宅ワーク支援のためのスキルアップ研修を開催した。 ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。 ・女性新規創業者に対し、市単独創業支援事業（店舗改装・家賃補助等）を通じた支援や情報提供を行った。</p> <p>【農林水産整備課】 ・林業及び水産業における地域の担い手として性別に関わらず重要な人材であることから、相互に協力した体制づくりを意識していただいた。</p> <p>【農政課】 ・県から提供される研修会の情報を生活研究グループや女性起業研究グループを通して発信した。 ・認定農業者が行う農業経営改善計画の作成の際に指導、助言を行うなど普及・啓発を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	現行の取組に加え、鹿児島県の職場におけるジェンダー平等推進事業を活用するなど、女性のキャリア形成に向けた取組を積極的に行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

・デジタル人材の育成が重要

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	①	雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保や非正規労働者の雇用環境の整備促進のための関係法令等の普及・啓発	広報啓発	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
2	セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等防止に向けた啓発	広報啓発	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
3	雇用に関する各種相談への対応	情報提供・啓発活動	商工観光課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりやHP等で県の講座やセミナーについて周知を行った。</p> <p>【商工観光課】 ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	現行の取組に加え、鹿児島県の職場におけるジェンダー平等推進事業を活用するなど、雇用等分野における男女の均等な機会と待遇の確保に向けた取組を積極的に行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>・市からの案内や情報周知については、もう一步踏み込んで工夫をしなければならない。</p>

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	②	長時間労働の是正等働き方改革の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	長時間労働の是正や年次有給休暇の取得促進、育児・介護と仕事の両立支援に向けた意識啓発	市民への広報啓発	企画政策課	A
		市職員に対する意識啓発	総務課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりに関連するキーワードを掲載し、周知を行った。</p> <p>【総務課】 ・年5日以上の子休取得促進のため、庁内掲示板で年休取得の実用例などを提示した。 ・9月末時点における未取得者については、所属長あてに年休の確実な取得について通知を行った。</p> <p>【商工観光課】 ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	市民への広報啓発や市職員に対する意識啓発など十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・市役所職員の残業縮減、年休取得の推進を行ってほしい。 ・教職員の働き方改革を進めてほしい。 ・育児や介護だけでなく、病気の治療と仕事との両立支援についても意識啓を進めてほしい。 ・事業所での人権教育を進めてほしい。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	③	農林水産業や商工業等の自営業の分野における就業環境の整備

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	農林水産業や商工業等の自営業の分野における就業環境の整備	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	農政課	A
		情報提供・啓発活動	農林水産整備課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
		家族経営協定	農政課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりやHP等で県の講座やセミナーについて周知を行った。</p> <p>【農政課】 ・県や関係機関から配布されるパンフレットを窓口に設置するとともに、企業に送付した。 ・認定農業者に対し、家族協定について指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。</p> <p>【農林水産整備課】 ・林業及び水産業における地域の担い手として性別を問わず重要な人材であることから、相互に協力した体制づくりを意識していただいた。</p> <p>【商工観光課】 ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	農林水産業や商工業等の自営業の分野における就業環境の整備するため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・女性の経済的地位の向上が必要 ・家族協定については、定期的な見直しが必要 ・担い手の確保という観点から、ジェンダー平等を推進してほしい。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	3	男女が共に能力を発揮でき、仕事と生活の調和が図れる働きやすい環境づくり
施策の方向	④	男性の家事・育児等への参画の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	男性の意識改革と家事・育児等参画への気運の醸成	市民への広報啓発	企画政策課	A
		市職員に対する意識啓発	総務課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
		Peer Class（ママ・パパ教室）	健康増進課	A
		広報啓発事業	生涯学習課	A
2	仕事と育児や介護との両立のための制度等の周知	市民への情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
		母子健康手帳交付時相談	健康増進課	A
		保育環境の充実と保育サービスの情報提供	こども課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・国、県が発行するチラシやポスターを活用し、女性活躍推進やワーク・ライフ・バランスについて周知を行った。</p> <p>【総務課】 ・男性職員の休暇制度については、対象者に案内チラシ、育休を取得した職員のレポートを配布した。</p> <p>【商工観光課】 ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。 ・管理職を対象に制度と数値目標について説明を行い、対象となる男性職員に取得させるよう、促した。</p> <p>【健康増進課】 ・Peer Class（ママ・パパ教室）を夜間を中心に開催した。 ・妊娠の早期把握を行い、母子健康手帳の交付を行った。 ・妊娠から出産・産後の健康管理ができるよう、専門職が連携を図りながら支援を行った。</p> <p>【生涯学習課】 ・県の人権啓発資料を小学校、中学校、義務教育学校に配布した。 ・家庭教育新聞を幼稚園、保育園、こども園、小学校、中学校、義務教育学校等に配布した。</p> <p>【こども課】 ・子どもの受入人数を増やし、安心して預けられる環境づくりをした。 ・入所案内書類では、男女双方の意見を取り入れ、周知を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	情報提供・啓発活動、仕事と育児や介護との両立のための制度等の周知など十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

- ・ 広報啓発、意識啓発の対象が偏らないようにしてほしい。
- ・ 男性の育児休業取得率を向上させる取組が必要
- ・ Peer Class（ママ・パパ教室）については、夜間を中心に開催するなど配慮されている。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	①	生涯にわたる男女の健康の包括的な支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	心身及びその健康についての正しい知識の普及と情報提供	健康相談・健康教育	健康増進課	A
		こころの相談会（こころの喫茶店）	健康増進課	A
		ゲートキーパー養成講座	健康増進課	A
2	男女の身体的違いやニーズを踏まえた健康づくりの支援	特定健診（長寿健診）	市民生活課	A
		特定保健指導	健康増進課	A
		健康教育・健康相談	健康増進課	A
3	がん検診受診率向上に向けた取組や女性特有の疾患等に関する普及啓発	女性がん検診	健康増進課	A
4	男女の健康状況や運動習慣の違いを踏まえた運動機会の提供	特定保健指導・健康教育・健康相談	健康増進課	A
		運動機会の提供	文化スポーツ課	A

2 取組状況

<p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診後の結果報告会やおからだ相談会等で、年代や性別に応じた健康づくりのための情報提供を行った。 ・特定保健指導対象者や重症化予防対象者に対し、年代や性別に応じた支援を行った。 ・こころの相談会は、プライバシーが守られる環境整備に配慮して実施した。 ・ゲートキーパー養成講座は、新規講座とスキルアップ講座を実施した。 ・女性がん検診は、受診しやすい検診体制を整備した。 <p>【市民生活課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診は、土日健診や夜間健診を実施し、受診しやすい環境づくりを行った。 <p>【市民スポーツ課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ教室のほか、いずみわくわく夢クラブの活動支援を通して運動機会の提供を行った。
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	各種相談体制、講座の実施は十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

・いずみわくわく夢クラブについては、ジェンダー平等の視点に立ち、男性の参加を促進する必要がある。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	②	妊娠・出産等に関する健康支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）についての理念の普及啓発	広報啓発	企画政策課	A
		Peer Class(ママ・パパ教室)	健康増進課	A
2	妊娠・出産期における健康管理の充実	母子健康手帳交付	健康増進課	A
3	不妊・不育治療に関する支援の充実	不妊・不育治療助成事業	健康増進課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりに関連するキーワードを掲載し、周知を行った。</p> <p>【健康増進課】 ・Peer Class（ママ・パパ教室）では、家族計画について説明を行った。 ・母子健康手帳の交付の際に、産前産後休暇や育児休暇などの手続き等について情報提供を行った。 ・不妊・不育治療助成について、市内及び県内の産婦人科にご協力いただき、情報提供を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	現行の取組に加え、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの更なる普及・啓発、生涯にわたる男女の健康の包括的な支援を積極的に行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の周知を図る必要がある。 ・鹿児島県は望まない妊娠や中絶の件数が多いため対応が必要 ・出水市の中絶件数を把握し、分析する必要がある。
--

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	4	生涯を通じた男女の健康支援
施策の方向	③	性に関する正しい理解の促進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	性に関する正しい知識の普及	思春期保健事業	健康増進課	A
		保健センターと連携した事業	学校教育課	A

2 取組状況

<p>【健康増進課】 ・ 中学1年生を対象に出前講座を実施した。</p> <p>【学校教育課】 ・ 保健師と連携し、妊婦体験や赤ちゃんとのふれあい体験を行うなかで、生命の誕生と心身の発達など性に関する指導を行った。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	性に関する正しい理解を促進するための講座は、十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・ 義務教育のうちに正しい学びの機会を提供してほしい。 ・ 命の教育と性教育は、しっかり整理して取組を行ってほしい。 ・ 性教育について、支援学校への働きかけを行っていただきたい。 ・ 学校に行けない子どもに対し、どのように学びの機会を提供するか検討が必要

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	①	ひとり親家庭等への支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	ひとり親家庭等への支援	児童扶養手当	こども課	A
		ひとり親家庭等医療費助成	こども課	A
		高等職業訓練促進給付金等事業・自立支援教育訓練給付金事業	こども課	A

2 取組状況

<p>【こども課】 ・ひとり親家庭等に対する支援として、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費助成、高等職業訓練促進給付金事業、自立支援教育訓練給付金事業を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	ひとり親家庭等への支援は、十分に配慮されているため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<p>・児童手当など世帯主に振り込まれるケースが多いため、経済的DV被害者等が直接受け取れる仕組みが必要 ・医療費の窓口払いをなくす検討を行ってほしい。</p>

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境の整備

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	高齢者の就業促進と雇用の確保	シルバー人材センターの運営支援	いきいき長寿課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A
2	高齢者の自立に向けた生活支援	ふれあいバス・乗合タクシーの運行	くらし安心課	A
		むらづくり団体への活動支援	農政課	A
		地域見守りネットワーク支援事業	いきいき長寿課	A
		地域支援事業費（各種事業含む）	いきいき長寿課	A
3	高齢者の人権を尊重する介護の質の向上の促進	保険給付費（各種事業含む）	いきいき長寿課	A
		介護サービス等に関する情報提供	いきいき長寿課	A
		介護者の支援	いきいき長寿課	A
4	障がい者の自立支援と生活環境の整備	相談支援の充実	福祉課	A
		就労支援	福祉課	A
		社会参加の促進	福祉課	A
5	複合的な困難や課題に直面しやすい人々への支援	人権相談	市民生活課	A

2 取組状況

【いきいき長寿課】

- ・シルバー人材センターに対する運営支援を行った。
- ・自治体単位の見守りグループを設置するとともに、グループ活動に必要な支援等を実施し、地域における見守り活動を実施した。
- ・ころばん体操を取り入れた「出水こけん塾」の立ち上げ支援を実施した。
- ・ケアマネジャーの研修や集団指導等により、要介護認定者が安らかに生活できるよう、円滑なサービス提供を行った。
- ・全住民を対象に介護サービス等に関する情報提供を行った。
- ・家族介護交流事業、介護手当支給事業、紙おむつ支給事業等を実施した。

【商工観光課】

- ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。

【くらし安心課】

- ・高齢者の交通手段として、ふれあいバス、乗合タクシーを運行した。

【農政課】

- ・各種行事計画策定等の際に指導、助言を行うなどの普及啓発を行った。

【福祉課】

- ・一人ひとりの生活状況を把握した上で、困難解決に必要な障害福祉サービスの提供を行った。
- ・外出支援や手話奉仕員の養成を行った。

【市民生活課】

- ・広報紙やHP等で、人権及び人権相談について市民に周知を行った。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	高齢者や障がい者等が安心して暮らせる環境をつくるため、現行の取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

- ・単身の高齢女性の貧困が問題になっているため、取組が必要
- ・若い時からキャリア教育を行う必要がある。
- ・見守りのネットワークづくりを進めてほしい。
- ・人権相談の周知を行ってほしい。
- ・こけん塾のスキルアップ講座を検討してほしい。
- ・「受援力」を高める必要がある。

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	5	生活上の困難を抱えやすい女性等が安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	③	生活困窮者等への支援

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	生活困窮状態にある人に対する自立に向けた支援	生活困窮者自立支援事業	安心サポートセンター	A

2 取組状況

<p>【安心サポートセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業等を実施し、生活困窮者のそれぞれの状況に応じ、必要な支援を行った。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	現行の取組に加え、複合的に生活上の困難をかかえる人々への包括的な支援を積極的に行う。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・地域での受け皿がないという問題がある。 ・生活困窮者への支援を行うボランティアへの支援、人材育成が必要 ・相談を受けてからどのように支援につなげていくか、問題解決に向けた仕組みづくりを構築する必要がある。 ・若い世代の引きこもりが問題になっているが、支援を行うスタッフが少ないため検討が必要

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	6	男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
施策の方向	①	配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	暴力を容認しない意識の醸成	広報・啓発	企画政策課	A
		広報・啓発	市民生活課	A
		婦人相談	安心サポートセンター	A
2	交際相手からの暴力（デートDV）の予防啓発	情報提供	企画政策課	A
		保健センターと連携した事業	学校教育課	A
3	安心して相談できる相談環境の整備	家庭児童相談・婦人相談	安心サポートセンター	A
		母子相談	健康増進課	A
		相談機関の周知	生涯学習課	A
4	被害者の安全確保と心身の健康回復・自立に向けた支援	ドメスティック・バイオレンス（DV）対策庁内連絡会議	企画政策課	A
		住民基本台帳の閲覧等を制限する措置	市民生活課	A
		緊急生活支援対策	住宅課	A
		子育て短期支援事業	こども課	A
		女性相談センターや警察等との連携	安心サポートセンター	A
		母子健診・相談・訪問	健康増進課	A
		高齢者虐待ネットワーク推進協議会	いきいき長寿課	A
5	家庭内の暴力により心理的外傷を受けた子どもへの支援	児童相談所や警察等との連携	安心サポートセンター	A
		子育て短期支援事業	こども課	A
		母子健診・相談・訪問	健康増進課	A
		こども課等と連携した事業	学校教育課	A

2 取組状況

【企画政策課】

- ・男女共同参画だよりやHP等でDVに関する正しい理解を図るための広報啓発を行った。
- ・国や県等のチラシやポスターを活用し、交際相手からの暴力の予防・防止に向けた啓発を行った。
- ・国や県からの通知等について、関係課に対し情報提供を行った。

【市民生活課】

- ・広報紙やHP等を通して人権及び人権相談について周知した。
- ・安心サポートセンターと連携し、窓口における相談体制を整えた。
- ・住民基本台帳の閲覧等を制限する措置を行った。

【安心サポートセンター】

- ・配偶者やパートナーからの暴力被害等の相談に応じた。
- ・相談者の相談に対し関係課と連携の上、指導・助言を行った。
- ・来所の場合は相談室を利用することで、プライバシーに配慮した相談体制を整えた。
- ・緊急避難を要する事案は、女性相談センターと連携を取り、一時保護の手続きを行った。
- ・関係機関への情報提供を行った。
- ・児童相談所に同行して家庭訪問を行った。

【学校教育課】

- ・家庭児童相談員や安心サポートセンターと連携して支援を行った。

【健康増進課】

- ・プライバシーの保護や相談者の心情に配慮し、個室で安心して相談できる体制を整えた。
- ・健診・相談・訪問等で様子を確認しながら、対象者が必要な支援を受けられるようにした。

【生涯学習課】

- ・家庭教育に関するリーフレットや家庭教育新聞で、市や県等の相談窓口の案内を掲載し配布した。

【住宅課】

- ・DV被害者に対し、公営住宅を優先的に貸し出した。

【こども課】

- ・児童養護施設と委託契約を締結し、速やかに要保護児童の入所処置が行える体制を整えた。

【いきいき長寿課】

- ・高齢者虐待防止ネットワーク推進協議会を開催し、現状報告と課題を協議した。
- ・関係課と情報交換を密に行うことで重層的な支援を行った。

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援に向けた取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	6	男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶
施策の方向	②	ハラスメント等の防止に向けた取組の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	セクシュアル・ハラスメント等防止に向けた取組	情報提供	企画政策課	A
		情報提供・啓発活動	商工観光課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・男女共同参画だよりやHP等でセクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた周知を行った。</p> <p>【商工観光課】 ・ポスター掲示、チラシ配布のほか、関係法令や事業などの情報をHPに掲載した。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	セクシュアル・ハラスメント等防止に向けた取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

--

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	①	人材育成等による地域コミュニティの基盤づくりの推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	地域での男女共同参画の推進を担う人材の育成・支援	市民を対象とした男女共同参画講座の開催	企画政策課	A
		地区コミュニティ協議会の活動支援	くらし安心課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・市民を対象に「無意識の思い込み～アンコンシャス・バイアス～」をテーマとした講演会を開催した。</p> <p>【くらし安心課】 ・固定的な性別役割分担意識に基づく慣行の見直しや意思決定過程に女性が参画しやすくなるような雰囲気づくりを進めていただくため、自治会連合会執行委員会や運営委員会において依頼した。</p>

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	イ	固定的な性別役割分担意識、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向け、地域での男女共同参画の推進を担う人材の育成・支援に向けた取組を継続して実施する。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

--

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	②	男女共同参画の視点に立った防災体制の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	地域における生活者の多様な視点を反映した防災体制の推進	防災会議	くらし安心課	A
		女性消防団員の災害等における活動	消防本部	A

2 取組状況

<p>【くらし安心課】 ・防災会議を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催となった。</p> <p>【消防本部】 ・男性の定例会議と同様に女性の定例会議を開催し、情報交換・意見交換を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	現行の取組に加え、男女共同参画の視点に立った防災体制を推進するため、県の地域推進と連携した取組を積極的に行います。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

--

令和4年度男女共同参画計画実施計画に基づく評価シート総括表（評価年度：令和3年度）

1 項目名

重点項目	7	地域における男女共同参画の推進
施策の方向	③	男女共同参画の視点に立った自治会等地域活動の推進

番号	具体的施策	実施事業名	担当課名	総合評価
1	各種団体・組織等における方針決定過程への女性の参画を進める取組の推進	情報提供	企画政策課	A
		自治会役員への女性の参画拡大	くらし安心課	A
		むらづくり団体への啓発活動	農政課	A
		学習会の開催	生涯学習課	A
		スポーツ推進委員の女性の参画拡大	文化スポーツ課	A

2 取組状況

<p>【企画政策課】 ・各自治会において方針決定過程への女性の参画拡大が図られるよう、くらし安心課を通して依頼した。</p> <p>【くらし安心課】 ・自治会連合会執行委員会や運営委員会時に女性の参画拡大が図られるよう、依頼した。</p> <p>【農政課】 ・各種行事計画策定等の際に指導、助言を行うなど啓発を行った。</p> <p>【生涯学習課】 ・社会教育関係団体の合同研修会を実施した。</p> <p>【市民スポーツ課】 ・スポーツ推進員の女性の参画拡大に向け、地域の活動団体との連絡調整、実技指導及び組織の育成に関する取組を行った。</p>
--

3 今後の方向性・検討事項

	配慮の度合	今後の方向性	方向性の理由、改善案等
最終評価	A	ア	現行の取組に加え、男女共同参画の視点に立った地域活動を推進するため、県の地域推進と連携した取組を積極的に行います。

【配慮の度合】 A「十分に配慮されている」 B「ある程度配慮されている」 C「配慮が足りない」

【今後の方向性】 ア「積極的に取り組む」 イ「現行のまま取り組む」 ウ「改善して取り組む」
 エ「取組は難しい」

4 出水市男女共同参画審議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・女性の消防団員を増やしてほしい。 ・防災分野に女性の意見を反映させる必要がある。 ・自治会組織を変えていく必要がある。 ・自治会長研修で男女共同参画に関する講演会を実施してほしい。 ・自治会の中に女性を増やす取組を行っていく必要がある。 ・これからの地域コミュニティ政策をどのように展開していくか検討を行う必要がある。
